



学校だより

令和7年4月号

令和7年4月15日

校長 小澤 秋仁

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>

新年度を迎えて

校長 小澤秋仁

本年度もどうぞよろしくおねがいいたします。

校庭の入口に、ユキヤナギの花がかわいらしくその表情にくぎ付けになります。枝は柳に似て下に垂れ、白い花が咲くと雪が降ったように見えることからこの名が付いたといえます。名前に“ユキ”がつくものの、春先に満開になる樹木です。本校のユキヤナギは写真のように、演者に投げ込まれた歓声をのせた紙テープのようにも見え、令和7年度の舞台の幕が開いたのであると、身を引き締めたところです。

伝統ある清瀬中学校を、保護者の皆様、地域の皆様にご協力を賜りながら、更に発展させていきたいと存じます。

さて、新年度に当たり、本校の教育目標は次のように掲げられています。

**「人間尊重を基本理念に、国際的な視野にたち、
平和を愛する社会人の形成を目指して」**

- 正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる
- 健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる
- 高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる

教育目標の達成には、主体性をもち、自ら考え、自ら取り組む姿勢が大切です。令和5年度の“我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査”によれば、「今の自分が好きだ」という項目に、諸外国は軒並み70%が肯定的な回答をしているところ、日本は53%にとどまりました。また、「あなたが40歳くらいになったとき、自分自身に満足しているか」に対しては、諸外国が80%前後の肯定的な回答ですが、日本は55%とやはり、将来をイメージした自画像にも肯定的な回答は低い結果が出ています。いずれも、自己肯定感に起因する内容です。主体性をもって取り組ませ、失敗を失敗のままとどめるのではなく、成功へ向かっての通過点とし、成功ばかりではなく、失敗も認め、粘り強く取り組み、乗り越えることで、自己肯定感を高める。そういった力を引き出す教育を目指します。

ユキヤナギは、ひとつひとつ花を観ると、決して大きいわけではないのですが、小さな花の集まりが、白の鮮やかさを演出しています。

小さな失敗体験や成功体験の集まりが、個性を鮮やかに演出する。そんな個性の集まりが清瀬中を盛り上げます。本年もご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



学年集会

4月9日は学年開きとして、集会を行いました。

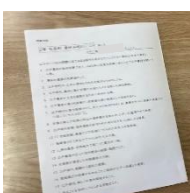


一年生は、中学生活に慣れる。二年生は中堅学年として、一年生を導き三年生を支える。三年生は、最上級生として清瀬中をけん引する。学年が上がると共に、目標は大きくなります。どの学年も共通して出てきた話題が、「自主」「自立」「自律」です。生徒の皆さんが物事に主体的に取り組むことで育まれる力です。

各先生から皆さんに想いを贈りました。3年生の集会では「出会い一度しかない。しかし、出会い直しは何度でもできる。仲間との出会い直し、学業との出会い直し、行事との出会い直し…。新年度になったのだから、今をチャンスに、新たな成長をスタートさせて欲しい」思い立った時が始まりです。

アウトプット

2年生は“春休み明けテスト”を行いました。インプットよりもアウトプットすることが脳への定着率を上げると言われています。テストは正にアウトプットなのです。



給食開始

4月9日より給食を開始しました。本校では食育に力を入れており、“行事食”“地産地消”“郷土食”“防災食”“世界の料理”などなど、栄養士を中心に食について考えていきます。昨年度は、初めて登場する世界の料理が、食卓を賑わせました。今年は何が出てくるのか給食が楽しみです。



避難訓練

4月11日6校時を前半と後半に分けて、災害時に向けて確認をしました。前半は、教室で活動していた場合の避難方法と基本的な避難経路の確認をしました。後半は、住所ごとに班を割り振ったブロック班に分かれ、班ごとに会議を行いました。メンバーの確認とリーダーを決定しました。大きな災害に見舞われた際に、リーダーの指示のもと、集団で下校する場合があります。また、地図を用いて下校経路を確認しました。



検診

4月11日に身体測定を終えました。身長、体重、視力、聴力を測定しました。1年間の身体の成長を感じる時です。また、各種検診もスタートしています。14日には心臓検診をおえしました。21日に内科検診、22日に尿検査と続きます。自身の健康状態を確認します。

